

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	頭蓋底腫瘍に対する適正治療方法及び治療成績解明に関する後方視的研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2000年1月から2026年3月までの期間に当院で診断および治療を受けた頭蓋底腫瘍患者を対象とする。	
③概要	
<p>本研究は、当院で頭蓋底腫瘍の診断および治療を受けられた患者さんを対象に、これまでの診療情報を用いて治療方法と治療成績の関連を検討することを目的としています。今後のより適切な治療法の確立に役立てることを目指しています。本研究では、新たに検査や治療をお願いすることはなく、通常の診療で得られた情報（年齢、性別、診断名、画像所見、治療内容、治療後の経過など）を利用させていただきます。これらは過去に手術治療として同意いただいたことにより取得した資料・情報を新たに利用する研究です。収集した情報は、個人が特定できないよう匿名化したうえで解析を行い、研究結果は学会発表や論文として公表されることがありますが、個人が特定されることはありません。本研究は、国の定める倫理指針に基づき、対象となる患者さんから個別の同意をいただく代わりに、研究内容を公開し、参加を希望されない場合に拒否できる機会（オプトアウト）を設けています。</p>	
④申請番号	2026-0057
⑤研究の目的・意義	本研究は、当院で頭蓋底腫瘍の診断および治療を受けられた患者さんを対象に、これまでの診療情報を用いて治療方法と治療成績の関連を検討することを目的としています。今後のより適切な治療法の確立に役立てることを目指しています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2029年12月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	これらの情報は、頭蓋底腫瘍に対してどのような治療がより良い結果につながるのかを調べるために用いられます。新たに検査や治療をお願いすることはありません。利用する情報は、当院に保管されている診療録（カルテ）から取得します。収集した情報は、お名前や住所など個人が特定できる情報を削除し、代わりに番号を付けるなどして、個人がわからない形（匿名化）にしたうえで解析を行います。
⑧利用または提供する情報の項目	この研究では、これまでの診療で記録された情報を利用させていただきます。具体的には、年齢や性別、病気の種類や広がり、CTやMRIなどの画像検査の結果、手術や放射線治療などの治療内容、その後の経過（再発の有無や生存状況など）といった情報です。
⑨利用する者の範囲	新潟大学脳研究所 脳神経外科学教室 研究責任者 三橋 大樹

㊤ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所 脳神経外科学教室 研究責任者 三橋 大樹
㊤ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学脳研究所 脳神経外科学教室 氏名：三橋 大樹 Tel：070-6457-5819 E-mail：tresdedos@bri.niigata-u.ac.jp